



たつみっこのための

# すたなび

NO. 21

辰美小学校

## 人を思いやる気持ちと元気なあいさつを

秋もめっきり深まり暖房がこいしい季節になってきました。皆様方には、日頃学校教育にご協力いただきありがとうございます。子どもたちは、元気いっぱい学校生活を送っています。

市のなかよし音楽会では6年生が合唱と合奏を披露しました。みんな自分の力を十分に発揮しすばらしい発表ができました。

辰美小学校では、

「個々の個性を生かし、良さを認め合い『共に生きる』姿勢を持つ子どもを育てる。」

「身近にある人権課題に気づき、自らの問題として考え、進んで解決していこうとする意欲と態度を育てる。」

の2つを人権教育における目標としています。他人の気持ちやいたみを考えて行動できる子どもの育成を図っています。

本校では、教育の基本を『元気なあいさつ』と位置づけ進めてまいりましたが、なかなか大きな声で元気よくあいさつすることが定着しない名が現状です。教職員が見本となり子どもたちの意欲を高め、根気強く進めていきたいと思っています。来週は学級対抗あいさつ大会を開催します。ご家庭でもあいさつが進んでできるようご協力をお願いします。



### 南あわじ市文集「ひろば」に掲載される人権標語

- 1年 ぼくのともだち いいこといっぱい まねっこするぞ
- 2年 きずつくよ あなたのその ひとことで
- 3年 「ありがとう」何回言ってもいい言葉「ありがとう」何回聞いてもいい言葉
- 4年 「ごめんね」と 言ったらほらね にっこり笑顔
- 5年 見つけたよ 小さなありがとうに 咲く笑顔
- 6年 ごみ拾い 心のごみも 忘れずに

## 聞いていますか？子どもの声

親と子どもとのやりとりには、さまざまなパターンがあります。次の2つのケースでのやりとりを比べて「子どもの声を聴く」という点ではどちらの方が良いと思われますか？

### ①子どもが困っている時

(A) 親が問題を解決しようとした (B) 子どもに考えさせた

(B)の方法をとったほうが、「自分で解決できたんだ」と自尊心を高め、話して良かったと思ってもらえると思います。

### ②子どものほめ方

(A) 「いい子だね」「えらい子だね」とほめる (B) 「具体的行動」をほめる

(A)のようにほめた場合、子どもは最初はうれしく思うが、周りの期待に応えるため「よい子」を演じるようになり自分の失敗を隠すようになってしまう可能性があります。

それに対して(B)のように「洗濯物を取り入れてくれて助かったよ。」や「あいさつしようだね。」などのように具体的に示して親のうれしい気持ちを伝えると「私は役に立つんだ。」というような自尊心を高めることができます。

子どもとの対話で少し方法を変えることで今まで聞けなかった子どもの声が聴こえるようになるかも知れません。(兵庫県人権教育研究協議会の冊子より引用)

子どもは良くも悪くも様々なことを吸収します。学校・家庭が良い体験を積み重ねられる環境づくりをしていくことが望まれます。良いことを吸収して欲しいと思います。

## 親子で読もう・・・道徳副読本

兵庫県では「兵庫県版道徳副読本」を作成し、子どもたち一人一人に配布しました。低・中・高学年用の3種類で兵庫県ゆかりの人物をとりあげるなど地域の特性を生かし、子どもの興味や関心を高めながら自己の生き方のよりどころとなるように作成されています。是非ご家族で読んでいただき、家族間の話し合いの材料として活用していただきたいと思っています。

### オススメは・・・

- 1・2年生用 「こころ はばたく」から  
「とくべつな方ほうで(永田 萌)」  
「大切な あなたへ(兼高かおる)」
- 3・4年生用 「心 きらめく」から  
「愛のひと(野口ゆか)」
- 5・6年生用 「心 ときめく」から  
「命が教える幸せの形(平松愛理)」

「生きる」ということや「命」、「未来」、「希望」、「愛」等がキーワードとなっています。たまにはそんな話題で話し合うのも良いのではないのでしょうか。